

科目名		測量実務 I			
担当教員		稲田 巧		実務授業の有無	有
対象学科	測量建設科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択	授業形式	講義	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	本年度の測量士補の国家試験合格を目指し学習する。また、7分野について65%の合格ラインに到達するための学習をする。				
学習目標 (到達目標)	本年度の測量士補の国家試験合格。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント、資料を配布する。				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	測量士補試験対策 測量概論・法規		過去問題を10年間分を解答し、理解度の向上を目指しこの分野での正解率を65%目指す。		
2	測量士補試験対策 基準点測量 (多角測量・GNSS測量)		過去問題を10年間分を解答し、理解度の向上を目指しこの分野での正解率を65%目指す。		
3	測量士補試験対策 基準点測量 (水準測量)		過去問題を10年間分を解答し、理解度の向上を目指しこの分野での正解率を65%目指す。		
4	測量士補試験対策 地図編集		過去問題を10年間分を解答し、理解度の向上を目指しこの分野での正解率を65%目指す。		
5	測量士補試験対策 地形測量		過去問題を10年間分を解答し、理解度の向上を目指しこの分野での正解率を65%目指す。		
6	測量士補試験対策 写真・UAV測量		過去問題を10年間分を解答し、理解度の向上を目指しこの分野での正解率を65%目指す。		
7	測量士補試験対策 応用測量		過去問題を10年間分を解答し、理解度の向上を目指しこの分野での正解率を65%目指す。		
8	測量士補試験対策 過去試験問題 (評価テスト)		確認テストとして過去試験問題を10年間分の中から選び実際の試験と同じ28問を解答する。理解度の向上を目指し全体での正解率を65%目指す。		
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
取組姿勢	評価テスト	評価テストの平均点数で評価する。	ぜひ本年度に受験する「測量士補」の国家試験に合格してほしい。勉強を通して測量に関する基礎知識を習得し、測量士補としてふさわしい実力をつけてもらいたい。		
5 %	95 %				
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	測量会社にて測量業務24年				